

資料4


令和6年度における施策推進方針（県北広域振興局）

県北広域振興圏  
の目指すべき姿


多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かして、  
北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する姿

地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性
若者・女性が活躍する地域づくり (女性・子育て支援等)	<p>○ 低い婚姻率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県北圏域における「婚姻率」は、4広域振興圏で最も低い</li> </ul> <p>&lt;令和5年度の実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三陸鉄道、金田一温泉を会場に出会いイベントを開催。⇒7組のカップルが成立</li> </ul>	<p><b>1 働きやすく、安心して子供を産み育てられる環境づくりへの支援</b></p> <p>(1) 結婚支援 (継) 自然減・社会減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久慈地域、二戸地域において出会いイベントを開催 地経費</li> </ul> <p>(2) 子育て支援 (継) 自然減・社会減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いわて子育てにやさしい企業等」の認証及び「いわて子育て応援の店」協賛店の登録取得を推進</li> </ul> <p>(3) 女性活躍支援 (継) 自然減・社会減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「働きやすい職場環境づくり」に関する企業向けセミナー等を開催し、「女性活躍認定企業」の認証取得を推進 広域</li> </ul>
(若者支援)	<p>○ 若年者の圏外への転出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県北圏域における「新規高卒者の管内就職率」は、4広域振興圏で最も低い</li> <li>高校生の7割が圏域外に進学</li> </ul> <p>&lt;令和5年度の実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育推進連携シンポジウム、業種理解セミナーや新入社員受け入れセミナー等の開催</li> <li>小中高生向け漁業体験等の実施</li> </ul>	<p><b>2 若者の地元定着とUターンの推進</b></p> <p>(1) 若年者の地元就職支援 (継) 自然減・社会減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 小中学生を対象に、工場見学等を実施 地経費</li> <li>イ 高校生を対象に、業種理解セミナーや企業見学会等を実施 広域</li> </ul> <p>(2) 若年者の離職防止及びU・Iターン就職の推進 (拡) 自然減・社会減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 管内新規就職者を対象とした合同研修会（フレッシュャーズ・カフェ）を開催 広域</li> <li>イ 管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援 広域</li> <li>ウ 部局横断型で、農業・水産業・製造業など各業種による就業定住モデルを検討、移住希望者に向けた情報発信の強化 (新) 地経費</li> </ul>

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。

地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性
<p>若者・女性が活躍する地域づくり (移住定住)</p>	<p>○ 人口減少の進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北圏域の人口減少は、<u>県平均を上回る速度</u>で進んでいる。</li> <li>・ 若者を中心に圏域外への転出超過が続いている。</li> </ul> <p>◇ <u>小規模自治体が多い</u>当地域において県・市町村一体となった移住定住施策</p> <p>◇ 地域での安定した雇用の場の創出</p> <p>&lt;令和5年の取組状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北局と管内8市町村の移住担当者等で組織する「<u>県北地域移住定住促進プロジェクトチーム</u>」に設置</li> <li>・ 管内企業ガイドブックを作成し、首都圏の移住イベント等で活用</li> <li>・ 地域おこし協力隊の定着支援</li> <li>・ 管内市町村向けに特定地域づくり事業協同組合に係る勉強会を開催（12月予定）</li> </ul>  <p>(THEいわてDAY_23.9.30)</p>	<p><b>3 市町村と連携した移住定住施策の推進及び新たな地域の担い手の定着支援</b></p> <p>(1) 移住定住の促進 (拡) <b>自然減・社会減</b></p> <p>「<u>県北地域移住定住促進プロジェクトチーム</u>」において「<u>県北圏域の特性</u>」を踏まえ、<u>県・市町村が一体となった広域的な移住定住</u>の取組を実施</p> <p>ア 久慈・二戸地域での<u>移住体験ツアーの実施</u> (新) <b>広域</b></p> <p>イ <u>全国的な移住フェアや就農フェア等への参加</u> (新) <b>広域</b></p> <p>ウ 市町村と県北局が協働で、首都圏における<u>県北地域のPR及び移住相談の開催</u> <b>広域</b></p> <p>(2) 地域おこし協力隊の定着支援 (拡) <b>自然減・社会減</b></p> <p>ア 任期終了後の活動に向けた<u>プランニング研修の開催</u> (新) <b>広域</b></p> <p>イ 現役隊員の抱える個別課題の解決を図るため、学識経験者などの専門家や地域おこし協力隊OBを派遣 <b>広域</b></p> <p>ウ 市町村と連携した地域おこし協力隊等活動報告会の開催 <b>広域</b></p> <p>(3) 移住者受入態勢の強化 (新) <b>自然減・社会減</b></p> <p>ア 移住者の孤立・不安の解消や移住者間のネットワーク強化を図るため、久慈地域、二戸地域への移住者を対象とした交流会を開催 (新) <b>広域</b></p> <p>イ 管内市町村と連携して<u>移住者向け暮らし情報</u>を取りまとめ、移住者支援等に活用 (新) <b>広域</b></p> <p>(4) 特定地域づくり事業協同組合の設立支援 (継) <b>自然減・社会減</b></p> <p>ア 組合設立の機運醸成を図るため、官民合同研修会を開催 <b>地経費</b></p> <p>イ 組合設立の具体化を図るため、設立協議会等の設置を支援 <b>地経費</b></p>

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。


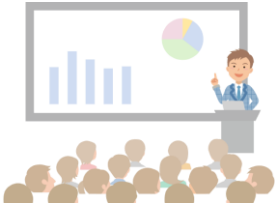

地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性
<p>所得向上を 目指した 産業振興 (農業・林業)</p>	<p>○ 担い手の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少や高齢化の進行により、農林業の担い手が減少</li> </ul> <p>◇ 地域特性を生かした産地育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県北地域の冷涼な気候を生かした「ほうれんそう」など収益性の高い園芸品目による産地育成</li> <li>ブランドりんご「冬恋」やG I登録商品「岩手木炭」など特色ある農林産物のブランド力向上</li> <li>国宝・重要文化財建造物の保全修理等への需要が見込まれる浄法寺漆の供給体制の確立</li> </ul> <p>〈令和5年の取組状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者支援 21経営体</li> <li>ほ場整備の推進 6地区</li> <li>ほうれんそうを核とした複合野菜産地形成支援(久慈)</li> <li>ブランド果物の育成及び認知度向上支援(二戸)</li> <li>浄法寺漆の生産手法の検証やウルシ林の保全育成支援(二戸)</li> </ul> 	<p><b>1 農林業の振興</b></p> <p>(1) 地域の農林業を担う経営体の育成や担い手の確保 (拡) <b>自然減・社会減、DX、GX</b></p> <p>集落営農組織等の育成・経営基盤強化を図るとともに、労働生産性の向上の取組を支援</p> <p>ア 新品目やICT機器の導入支援、経営改善アドバイザーの派遣 (新) <b>地経費</b></p> <p>イ データに基づき農業経営の改善や栽培技術の改善を図るデータ駆動型農業の普及に向けた研修会の開催 (新) <b>地経費</b></p> <p>ウ 肥料コストの低減に向けた「豚ぱんペレット」の供給体制等の検討</p> <p>エ GPSや地理情報システムを利用したスマート林業の普及に向けた研修会の開催</p> <p>オ 新規林業従事者のスタートアップ支援及び自伐型林業を目指す地域おこし協力隊の技術指導・研修会を実施 <b>地経費</b></p> <p>(2) 特色ある農畜産物及び林産物による産地形成 (拡) <b>DX、GX、安心安全</b></p> <p>園芸品目・酪農・肉用牛経営の生産性の向上と農畜産物のブランド力向上の取組を支援</p> <p>ア 夏季ほうれんそうの収量向上に向けた加湿制御技術の導入支援</p> <p>イ ブランドりんご「冬恋」の認知度向上に向けた取組及び有望品種「雪いわて」等の育成支援 <b>地経費</b></p> <p>ウ 浄法寺漆の安定生産を図るため、良質な苗木の生産と育苗作業の省力化を図る実証試験を支援 <b>地経費</b></p> <p>エ 岩手木炭の生産者と消費者が交流するイベントを開催するとともに、Jクレジットにおけるバイオ炭の利用に関する検討会を開催 <b>地経費</b></p>

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。

地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性
<p>所得向上を目指した産業振興（水産業）</p>	<p>○ 主要魚種の不漁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海洋環境の変化等により、サケ資源が大幅に減少</li> <li>磯焼けによるアワビやウニなど磯根資源の減少</li> <li>担い手の減少やワカメの病虫害、ホタテガイの大量斃死により、管内の養殖生産量が減少</li> <li>サワラなどの暖水系魚種の水揚げが増加</li> </ul>  <p>〈令和5年の取組状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サケの放流稚魚の大型化・強靱化の取組を支援</li> <li>藻場の回復を図るため、蓄養ウニの取組を支援</li> <li>未利用農産物（しいたけ軸等）の利用や漁協間の餌料供給の取組を支援</li> <li>水揚げが増加しているサワラ等の新漁法の導入支援及び利活用方法の検討</li> <li>新たな養殖品目であるギンザケの利用促進と付加価値の向上の取組を支援</li> </ul>	<p><b>3 水産業の振興</b></p> <p>(1) 漁業担い手の確保・育成（継） <b>自然減・社会減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 小中高生を対象とした漁業体験 <b>地経費</b></li> <li>イ いわて水産アカデミーと連携した新規就業者の受入促進</li> </ul> <p>(2) 漁業生産量の回復（継） <b>GX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア サケ資源の回復 <ul style="list-style-type: none"> <li>大型で強靱な稚魚を生産するため、遊泳力や血糖値測定などの稚魚の飼育技術に係るふ化場への指導を実施</li> </ul> </li> <li>イ アワビ・ウニ資源の回復 <ul style="list-style-type: none"> <li>蓄養ウニの12月期出荷による所得向上の取組を支援 <b>地経費</b></li> <li>昆布などウニのエサとなる海藻を安定的に供給する漁協間の取組を支援 <b>地経費（市町村連携）</b></li> </ul> </li> <li>ウ 養殖生産量の回復 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホタテガイに係る養殖用種苗の発生状況調査等の生産技術指導</li> <li>野田村漁協に対する養殖ホタテガイの斃死原因の調査及び対策協議</li> <li>ワカメ病虫害モニタリングの実施及び調査結果の共有</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 生産物の付加価値向上・販路拡大（継） <b>DX、安心安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 水産加工業者等の「I F ① H A C C P（いわて水産業地域ハサップ）」認証取得を推進</li> <li>イ サワラなどの暖水系魚種を原料とした、神経めなど新たな出荷方法による高単価流通の検討</li> <li>ウ 久慈地域の水産物の魅力を発信するため、直売会やSNSを活用した情報発信の取組を支援</li> </ul> 

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。



地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性
<p>所得向上を 目指した 産業振興 (商工業)</p>	<p>○ 食産業とものづくり産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の7割が圏域外に進学。域内での若年者の就職率が低いことから、人手不足が恒常化。</li> <li>・ 食産業者は、ブローラーなど一部企業を除き、大部分は小規模・零細経営であり、課題は多種多様</li> <li>・ アパレル関連企業は、受託生産が多く、安定的な受注確保には知名度及び生産性の向上が必要</li> </ul> <p>〈令和5年の取組状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北ものづくり改善塾を実施</li> <li>・ アパレル企業へのインターンシッププログラムの実施（現時点で学生7名が利用）</li> <li>・ 「食産業」、「ものづくり」、それぞれのコーディネーターを設置し、事業者の個別課題への支援</li> <li>・ 洋野町の食品業者に対して、トヨタ式カイゼンの取組を実施</li> </ul> 	<p><b>4 食産業・ものづくり産業の振興</b></p> <p>(1) 人材の確保・育成（継）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 県北ものづくり産業ネットワークが取り組む企業の若手従業員の合同学習会（改善塾）や中高生に対する企業人講演会等の取組を支援 <b>地経費</b></li> <li>イ 管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援(再掲) <b>広域</b></li> <li>ウ 管内高校や中学校でのブローラー産業に係る出前講座を支援 <b>広域</b></li> </ul>   <p>(2) 事業者の経営課題に応じた支援（継）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 北いわて食産業コーディネーターやものづくりネットワークコーディネーターを配置し、各企業の実情に応じた伴走型支援を実施 <b>広域</b></li> <li>イ 食産業者に対して、新商品の検討や有望商品のブラッシュアップを図るため、食産業コーディネーターと一体となった専門家派遣 <b>地経費</b></li> <li>ウ トヨタ式カイゼンのノウハウの導入及び定着を図り、企業の成長力向上や労働環境の改善の取組を支援</li> <li>エ 販路拡大を目的とした「いわてアパレル企業ビジネスマッチング商談会」の開催を支援</li> </ul> <p>(3) 食材の認知度向上、ものづくり産業の技術力発信及び販路拡大の支援（継）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 管内イベントへのブローラー関係ブースの出展を支援 <b>広域</b></li> <li>イ 沿岸広域振興局と合同で、イオンモール盛岡南での物産イベントを年2回開催（出展者数 計10社） <b>地経費</b></li> <li>ウ 県北地域の特色ある食材を活用したご当地ソフトやジェラートを切り口としたラリーイベントを実施 <b>地経費</b></li> </ul>

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。

地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性														
<p>北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり（観光・交流連携）</p>	<p>○ 県北圏域の観光入込客数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県北圏域の観光入込客数は、<u>コロナ前の水準に回復せず</u></li> </ul> <table border="1" data-bbox="439 395 949 478"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>267</td> <td>169</td> <td>174</td> <td>204</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(単位：万人回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御所野縄文公園の入込客数は、令和4年度までは増加したものの、令和5年8月時点では<u>対前年度同月比で減少</u></li> </ul> <table border="1" data-bbox="439 635 949 715"> <thead> <tr> <th>R4.4～8月</th> <th>R5.4～8月</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,024</td> <td>15,634</td> <td>△3,390</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(単位：人回)</p>  <p style="text-align: center;">(御所野遺跡)</p> <p>〈令和5年の取組状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北三陸「あまちゃん」観光推進協議会と連携し、放送10周年を記念した観光キャンペーンを実施</li> <li>「御所野遺跡」を核とした周遊観光ルートの確立に向けた取組を実施</li> </ul>	R1	R2	R3	R4	267	169	174	204	R4.4～8月	R5.4～8月	増減	19,024	15,634	△3,390	<p><b>1 地域資源を生かした観光・交流連携</b></p> <p>(1) 特色ある地域資源を活用した観光の推進 (拡)</p> <p>[県北圏域]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県北圏域の魅力的な地域資源を磨き上げ、<u>高付加価値の旅行商品</u>を造成する「<u>北いわてアドベンチャーツーリズム (県北の本質を深く体感する)</u>」を推進 (新) 広域</li> <li>ナニヤトヤラ連邦会議 (久慈・二戸・八戸で構成) と連携し、<u>県北・八戸圏域内の周遊促進を図るための誘客プロモーションを実施</u> 広域</li> </ul>   <p style="text-align: right;">(久慈秋まつり)</p> <p>[久慈地域]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 「あまちゃん」効果を活用し誘客促進を図るため、北三陸「あまちゃん」観光推進協議会と連携して宣伝活動等を実施 広域</li> <li>イ 宮古港に寄港するクルーズ船の乗客をターゲットとしたオプショナルツアーの検討 (新) 地経費</li> <li>ウ みちのく潮風トレイルや三陸ジオパークを活用したフォトロゲイニング大会を実施 (新) 広域</li> </ul> <p>[二戸地域]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 世界遺産登録3周年に合わせた管内イベント等の開催 広域</li> <li>イ 縄文遺跡群を有する隣接圏域 (鹿角・八戸) 等と連携した情報発信及び周遊観光の促進 広域</li> <li>ウ 戦国武将「九戸政実」や「九戸城」等歴史文化を活用した魅力発信 広域</li> </ul>
R1	R2	R3	R4													
267	169	174	204													
R4.4～8月	R5.4～8月	増減														
19,024	15,634	△3,390														

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。

地域振興プランの基本方向	現状と課題	取組の方向性
<p>北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり（再エネ）</p>	<p>○再生可能エネルギーの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北圏域では、太陽光発電や陸上風力発電等再生可能エネルギーの導入が進んでいる</li> <li>・ 久慈市沖では洋上風力発電の導入に向けた検討が進められている。</li> </ul> <p>&lt;令和5年の取組状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 久慈商工会議所と連携し、洋上風力発電に係る管内事業者向けセミナーの開催及び先進地視察（秋田県）を実施</li> </ul>	<p><b>2 再生可能エネルギーを生かした地域づくり</b></p> <p>(1) 再生可能エネルギー導入に向けた支援（<b>継</b>）<b>GX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 管内市町村における環境省の脱炭素先行地域選定に向けた取組を支援（ゼロ予算）</li> <li>イ 北いわて再生可能エネルギー勉強会の開催（ゼロ予算）</li> </ul> <p>(2) 再生可能エネルギーに対する企業や住民理解の醸成（<b>継</b>）、<b>GX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 横浜市と「再生可能エネルギーに関する連携協定」を締結する県北市町村における再生可能エネルギーの活用や地域間の交流連携の取組を支援 <b>地経費</b></li> <li>イ 管内企業、住民への普及啓発</li> </ul>
<p>安全・安心な地域づくり（減災）</p>	<p>○ 減災のためのハード施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年10月の台風第19号により被災した久慈市内の小屋畑川及び長内川の河川改修を令和3年度から実施</li> <li>・ 令和4年8月の大雨により被災した一戸町内の馬淵川の河川改修を令和4年度から実施</li> </ul> <p>○ 減災のためのソフト施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波からの住民避難のための情報充実や安全な避難体制の構築が必要</li> <li>・ 令和5年2月に日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震津波など災害時の緊急避難場所として久慈地区合同庁舎を指定 令和5年11月に指定後、初めての住民津波避難訓練を実施</li> </ul>	<p><b>1 河川改修の推進</b></p> <p>(1) 二級河川小屋畑川 広域河川改修事業（久慈市）（<b>継</b>）<b>安心安全</b></p> <p>小屋畑川の河道付替え工事の推進及び長内川の橋梁下部工工事に着手</p> <p>(2) 一級河川馬淵川 河川改修事業（一戸町）（<b>継</b>）<b>安心安全</b></p> <p>令和6年度から用地取得を要しない範囲で、河道掘削工事に着手 事業用地の早期取得を目指し、用地測量を実施</p> <p><b>2 津波防災の普及啓発</b></p> <p>(1) 津波防災の普及啓発（<b>継</b>）<b>安心安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 久慈地域の小・中・高校生等を対象とした津波防災出前講座の開催</li> </ul> <p>(2) 県庁舎への緊急避難場所の指定（<b>継</b>）<b>安心安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 久慈市と連携し、住民避難訓練で明らかになった問題点等の改善</li> </ul> 

確定前の情報です。今後の検討により、内容を変更する可能性があります。